

# 特に寄附を募集する地方創生プロジェクト



恵那市では、令和4年度以降、次の地方創生プロジェクトについて特に寄附を募集して実施していきたいと考えています。プロジェクトの進捗状況に応じて、企業のみならず市民からの寄附やリソースによる支援をお待ちしております。



## ▼ラリージャパン開催を契機としたモータースポーツと車文化にやさしいまちづくり事業

FIA世界ラリー選手権（WRC）日本ラウンド「FORUM8 Rally Japan 2022」の開催を活かし、モータースポーツや車好きの方が訪れていただける活動（オーナーズミーティングやオフ会の支援など）による地域の魅力発信、観光・産業の振興による地域活性化を推進します。



## ▼誰もが使いやすい交通ネットワーク形成プロジェクト事業（MaaS）

多様な輸送資源を活用し、抵抗なく自然に移動できる環境を整備（MaaS）することで、円滑な移動手段の実現を目指します。まちづくり施策や観光振興施策と連携し、利用者の困りごとに総合的に対応する、誰もが使いやすい交通ネットワークによる持続可能なまちづくりを目指します。



## ▼二酸化炭素排出量削減と非常用電源確保事業

恵那電力（太陽光などの再生可能エネルギーによる発電及び売電事業を行う地域新電力会社）の電気を使用するプラグインハイブリッド公用車を導入し、エネルギーの地産地消や二酸化炭素削減を推進するとともに、災害時には避難所等の非常用電源車として活用します。



## ▼畦畔管理の省力化による美しい農村づくりプロジェクト

中山間地域の農家の労働負担を減らし、日本の原風景「美しき恵那」の農村景観を守るため、農地の畦畔を芝生化することで、管理に要する作業時間の短縮による軽労化を図り、持続可能な農業を実現するとともに美しい景観を後世に受け継いでいきます。



## ▼循環型社会構築事業（生ごみ堆肥化）

生ごみ資源の地域内循環を目指して、事業所から出る生ごみを使用した栄養価の高い良質な堆肥づくり、成分に関する研究や需要先の調査等を行います。また、一般家庭の生ごみの分別・収集及び資源化に向けてアンケート調査などを行います。

# 企業の皆様と共に取り組みたい課題やサービス



恵那市では、企業版ふるさと納税の寄附での応援だけでなく、市の課題の解決やより良い住民サービスの提供に向け、事業の企画立案段階から企業リソースを活かした官民連携で支援していただける企業様を募集しています。各種ご提案をお待ちしております。

テーマ例

- デジタル社会で輝く「IT人材育成プロジェクト」
- 子どもがのびのび思いっきり『遊べる場』・学生が気軽に学習できる『学びの場』づくり



寄附を検討されている企業のご担当者様は、下記までお問合せください。

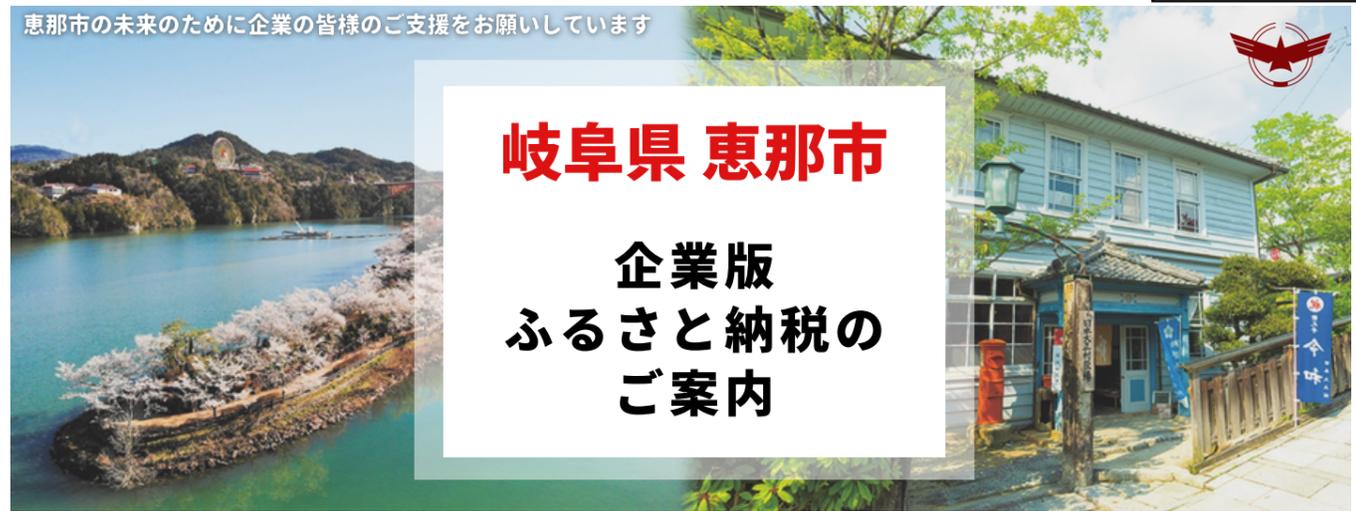
岐阜県 恵那市 まちづくり企画部 企画課

お問合せ先 〒509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1  
TEL:0573-26-2111（代表）  
E-Mail:kikaku@city.ena.lg.jp

恵那市はSDGsの達成に向けた取り組みを進めています



恵那市の未来のために企業の皆様のご支援をお願いしています



## 岐阜県 恵那市

### 企業版 ふるさと納税の ご案内

企業版ふるさと納税は、企業にとってのメリットが盛りだくさん

企業としてのPR効果  
(イメージアップ)



市の公式ホームページや  
広報誌などで企業PR

地域資源を活かした  
新事業展開

恵那市との新たな  
パートナーシップの構築



## 岐阜県 恵那市ってどんなところ？

恵那市は、名古屋市の中心部からおよそ60km、山紫水明の豊かな自然に恵まれた地域です。2004年の市町村合併により、市内には、県立自然公園指定の恵那峡、中山道大井宿、800年の歴史を持つ女城主のまち岩村、レトロな雰囲気漂う日本大正村などを有し、これらを全長25.1kmの明知鉄道が結んでいます。また、2027年開業予定のリニア中央新幹線の間接市に建設される予定です。

## 企業版ふるさと納税とは（地方創生応援税制）

企業の皆様が寄附を通じて、恵那市の「地方創生プロジェクト」を応援された場合に、税制上の優遇が受けられる仕組みです。実質的な企業負担は約1割で恵那市のプロジェクトを応援いただけます。

最大で、  
寄附額の**約9割**

負担軽減！



## 留意事項（事前に必ずご確認ください）

- ・1回あたり10万円以上の寄附が対象となります。
- ・寄附を行うことの代償として経済的な利益を受け取ることは禁止されています。
- ・恵那市外に本社(※)が所在する企業が対象です。
- ※この場合の本社とは、地方税法における「主たる事務所又は事業所」を指します

## ▼ 寄附のお申込みはこちら ▼



右のQRコードから簡単アクセス！  
寄附の流れや詳細も確認出来ます



# 恵那市の主な地方創生プロジェクト (寄附対象事業)



「第2期恵那市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付けられている、令和3年度以降の新規事業及び拡充事業が、企業版ふるさと納税の対象となります。



事業の詳細や  
制度の概要は  
こちらのHPをチェック！

恵那市公式キャラクター「エーナ」

恵那市の事業の  
詳細等はこちら

【恵那市HP】



制度概要・活用  
事例等はこちら

【内閣府HP】



## 1 元気に働けるまちづくり

～稼ぐ地域をつくり、安心して働けるようにする事業～



都市農村交流

恵那市の特産品や資源を生かした商品開発や6次産業化等の取組への支援、新規事業者の育成・担い手となる民間組織の活動や農業への新規参入の支援など、各種産業を支える経営基盤の強化や地域経済の活性化を図ります。  
また、産官学連携を生かした就業体験やICTの活用による柔軟な働き方を実現するための環境作りなどを通して、誰もが活躍できる社会を築きます。

- スマート農業技術導入支援
- アウトドアレジャー普及促進
- オリンピックによるスケート教室 など
- えな地域ブランド推進 ※1
- サイクルツーリズム普及促進

※1: 「えな地域ブランド商品」を認定し、恵那の魅力発信と商品の販売拡大を行います

対応するSDGsの目標



## 2 もっと住みたいまちづくり

～地域への新しいひとの流れをつくる事業～



正家第二土地区画整理事業

ドローンやAI等の先端技術を活用し、交通・医療・介護・買い物等の生活に不可欠なサービスの利便性を向上させるための実証実験の実施や、新しい公共スペースの創出、子育て世代などに特化した居住空間の整備・誘導により、ずっと住みたいと思えるまちをつくります。

- 恵那暮らしサポートセンターの運営
- 国道19号瑞浪恵那道路 武並「道の駅」基本計画作成
- まちづくり基本調査 など
- 移住・定住推進

対応するSDGsの目標



## 3 安心して子育てができるまちづくり

～結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業～



母子保健事業

切れ目のない継続的な子育て支援や、地域における子育て支援の充実など、誰もが安心してサービスを受けられる環境を構築します。また、個別の事情に対応したサービスや教育相談を充実させ、義務教育後も子どもを見守り、支援する仕組みを作ります。

- 第3子以降の子育て支援サービス利用料免除
- 子ども等福祉医療費助成（高校生世代の医療費無償化）
- 子ども子育て支援
- 妊娠・出産支援 など

対応するSDGsの目標



## 4 快適に暮らし続けられるまちづくり

～ひとが集い、安心して暮らせる  
魅力的な地域をつくる事業～



移動支援「みかさぎ」

歴史的な街並みや伝統芸能などの独自の歴史・文化、豊かな自然を保全・継承し、まちづくりに活かすとともに、計画的な土地利用を進めます。また、移動環境の向上や周辺地域での買い物環境の整備、小さな拠点の整備促進などにより、快適に暮らすことができる環境づくりを進めます。

- 中央公園再整備
- 笠置峡アクアスポーツ教室
- 大学スポーツ部による専門スポーツ教室（中学生対象） など
- 住宅用新エネルギーシステム助成
- 恵那スマートテロワール事業 ※2

※2: 食料自給率の構築と食料自給率の向上に向けた持続可能な農業を構築します

対応するSDGsの目標



## 5 皆で考え皆が活躍できるまちづくり

～多様な人材の活躍を推進する事業～



小学校プログラミング教育

ICTを活用した学習環境を通して論理的思考力や想像力などのスキルを育み、地域課題の解決や高度情報化社会で活躍できる人材育成を図ります。また、サードプレイス等を活用して人と人が多様な価値観・考え方を交流させることにより、地域課題の解決や、地域を超えた取り組みを行うことができる仕組みを構築します。

- オンライン学習機器の整備及びICTを活用した新たな学びの提供
- 生理の貧困等対策
- 飯地コミュニティセンター・診療所大規模改修 など
- 三郷小学校大規模改修

対応するSDGsの目標



## 6 未来へつながるまちづくり

～新しい時代の流れを力にする事業～



地域資源回収拠点の開所式

企業と連携し新しい技術を活用したフードシェアの推進や、再生可能エネルギーの活用を推進しエネルギーの地産地消を図るなど、経済・資源の域内循環の仕組みを確立し、持続可能な地域社会の形成を行います。

また、リニア中央新幹線開通に伴う都市基盤整備・交通環境の改善を進めることにより広域シティプロモーションの促進や新たな生活スタイルに合わせた環境整備を進め、新たな定住・交流人口の拡大を図ります。

- たべる関連事業推進
- 3R推進
- リニアを活かした市内のまちづくりと道路網の整備 など
- 廃棄物処理施設広域化
- 東濃東部都市間連絡道路の整備

対応するSDGsの目標



ここに挙げている事業は一例です。詳しくはお問い合わせください。